

発表No.

テーマ

308

社内講座の予約サイト運用における作業工数の低減

会社・事業所名(フリガナ)

株式会社エクセディ 上野事業所

発表者名(フリガナ)

温 馨 ・ 嶋内 紫乃



発表のセールスポイント

社内の組織変更や人事異動が発生した際に
全て手作業で実施していた社内講座の予約サイトの従業員情報
更新作業をエクセル関数とRPAを活用し、自動化を実現しました。
この取り組みでは、従業員情報の更新作業をタイムリーに行う
ことを実現し効率化を追求しました。
更に、メンバーのスキル向上を促進し、その成果物を部内へ
水平展開することで全体の業務改善にも貢献しました。
加えて、DX推進者の育成の第一歩ともなりました。
この事例をご紹介します。

2024年度_東海支部総合交流大会

EXEDY
Excellent & Dynamic社内講座の予約サイト運用における
作業工数の低減

2025年2月5日

株式会社エクセディ
グローバル人材開発本部
人材組織開発部
楽に パフォーマンス アゲてこ！サークル

発表者 : 温 馨、嶋内 紫乃
アシスタント : 大地 敏行

人材組織開発部 | 2025/2/5

1 | 42

QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式
	楽に パフォーマンス アゲてこ！ (ラクニ パフォーマンス アゲテコ！)		PC
本部登録番号	2840-1	サークル結成年月	2023年 4月
メンバー構成	7名	会合は就業時間	内
平均年齢	37歳(最高51歳、最低29歳)	月あたりの会合回数	2回
テーマ暦	本テーマで 1件目 社外発表 1件目	1回あたりの会合時間	1時間
本テーマの活動期間	2023年 4月 ~ 2023年 9月	本テーマの会合回数	10回
発表者の所属	グローバル人材開発本部 人材組織開発部		勤続 6年

テーマ選定 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

私たちの所属する
グローバル人材開発本部の課題の一つに・・・

DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務改善

そして**本部の方針**の一つに・・・

本部業務のDX推進、付加価値向上

↓

人材組織開発部も業務改善を進めていく

人材組織開発部 | 2025/2/5 7 | 42

テーマ選定にあたり、私たちの所属するグローバル人材開発本部の課題の一つにDXによる業務改善、そして本部方針の一つに本部業務のDX推進、付加価値向上が掲げられております。

私達、人材組織開発部も上記方針をもとに業務改善を進めます。

テーマ選定 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

本部方針に記載のDXによる業務改善を進めていく為に、会社で推進しているRPAを人材組織開発部にも導入したいです

サークルリーダー
森さん

世話人補佐
大地さん

せっかくRPAを導入するのであれば、QCサークル活動として、取り組んでみてはどうでしょう。

**楽にパフォーマンス アゲてこ！
サークルの誕生**

人材組織開発部 | 2025/2/5 8 | 42

人材組織開発部として業務改善を行うにあたり、会社で推進しているRPAの導入を上司へ相談したところ、世話人補佐からせっかくであれば、QCC活動として取り組んで欲しいと提案がありました。

楽にパフォーマンスアゲてこサークルの誕生です。

テーマ選定 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

マトリックス図で最も点数の高かった
「社内講座の予約サイト運用における作業工数の低減」に決定

◎：5点 ○：3点 △：1点

困りごと	緊急性	実現性	効率性	将来性	総合点
人材開発部主催研修の人事システムへの登録作業に時間がかかる	○	◎	△	△	10
研修時間申請届（各部門用）の名簿更新作業に時間がかかる	○	△	○	○	10
予約サイトのDB情報を毎日取り出す必要があり大変	◎	◎	○	△	14
講座用に先 1 年分の研修室の予約をする作業が手間がかかる	△	◎	○	○	12
随席別教育担当者の情報・実績更新作業に時間がかかる、忘れてしまう	◎	○	◎	△	14
随席別講座のシフト集約や講座振分作業が複雑でミスが起こりやすい	◎	△	◎	△	12
組織変更後の社内講座の予約サイト上の社員情報・部署コードの更新作業に時間がかかる、ミスが起こりやすい	◎	◎	◎	○	18
随席別教育の実績管理やリマインドメールの送信作業に時間がかかる	○	○	○	○	12

人材組織開発部 | 2025/2/5 11 | 42

メンバーで困り事を洗い出し、緊急性、実現性、効率性、将来性の観点で採点を行い、「社内講座の予約サイト運用における作業工数の低減」を今回の活動テーマに選定しました。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

社内講座とは…
社内で実施している内製講座で、従業員が必要に応じて、専用の**予約サイト**より申し込みを行い、講座を受講し、知識や技能の研鑽を図る

項目	内容（2023年度実績）
講座数	78講座
受講者数	延べ2,827名
講座開講回数	延べ506回

人材組織開発部 | 2025/2/5 12 | 42

今回の活動テーマの社内講座についてですが、社内で実施している従業員向けの講座になります。従業員が必要に応じて専用の予約サイトより申込を行い、希望の講座を受講し、知識や技能の向上を図っています。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

社内講座の申込～受講までの流れ

申請者 → 承認者（部長以上） → 受講通知を予約サイトに配信

自動配信

申請者
承認者
講師
管理者

講座の申込から通知まで「予約サイト」で一元管理

人材組織開発部 | 2025/2/5 13 | 42

社内講座の受講までの流れについてです。

まずは専用のサイトににて申込を行い、上司が承認すると事務局へ申込情報が届きます。申込から受講の案内までを行う専用サイトを社内では予約サイトと呼び、一元管理を行っています。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの思い、私たちの未来

予約サイト内の作業について

申請者 → 承認者（部長以上）

実際の画面

受講者を選択すると承認者が自動表示される

組織名称の変更や在籍者情報の変更が発生した際に予約サイト内の「データ更新」が必要

人材組織開発部 | 2025/2/5 14 | 42

予約サイト上で受講者を選択すると承認者が自動で表示されます。

予約サイト内に組織名称や人事情報を登録しており、組織名称の変更や人事異動が発生した際にはデータ更新が必要となります。

今回の活動はこのデータ更新に関する作業についての活動となります。



予約サイトの更新作業のフローは、組織や異動情報の入手、データ更新作業、予約サイトに登録するという流れです。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

どの工程で工数がかかっているかを分析

大項目	作業詳細	手段	工数(分)
異動情報や組織の入手	メールアドレス情報の入手	情報システム部に依頼	10
	在籍者・退職者情報の入手	人事部に依頼	10
	正社員登用情報の入手	人事部に依頼	30
	組織情報の入手	ポータルサイトよりダウンロード	5
	関連会社情報の入手	関連会社に依頼	10
データ更新作業	メールアドレス紐づけ	Excel関数	15
	受講者に承認者を紐づけ(承認者リストの更新)	組織情報を見ながら手作業	333
	在籍データを紐づけ	Excel関数	30
	従業員マスタDB作成	Excel関数	30
	登録者選別	Excel関数	60
	データ削除	予約サイト操作	30
登録予約サイト	データ登録	予約サイト操作	30
	データ更新	予約サイト操作	30
合計(分)			623

人材組織開発部 | 2025/2/5 16 | 42

まず、作業を洗い出し、それぞれにかかっている工数を把握した結果、受講者ごとに上司である承認者を紐づける作業に多くの時間がかかっていることが分かりました。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

データ更新の作業とは・・・

所属コード	所属	部署	部署・工場	チーム・係	氏名	役職
0021	管理本部	情報システム部	運用チーム			
0000	管理本部	総務部				
0001	管理本部	総務部	総務・秘書チーム			
0002	管理本部	総務部	施設管理チーム			
0000	管理本部	財務部				
0010	管理本部	財務部				
0011	管理本部	財務部	簿記・決算チーム			
0012	管理本部	財務部	資金・給与チーム			
0013	管理本部	財務部	本部・財務合計チーム			

新しい組織名や追加の部署があれば追記・修正必要

承認者の情報を入力

作業方法 紙の組織図を照らし合わせながら手作業でメンテナンス実施

人材組織開発部 | 2025/2/5 17 | 42

データ更新の作業は紙の組織表を照らし合わせながら、Excelファイルに手入力し、最新の組織名や承認者の情報になるように情報を更新しています。

現状把握 Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

更新はどれくらいの頻度で実施しているのですか？

メンバー 熊澤さん

本当は毎月したいのですが、時間がかかるので、今は年に2回しか更新作業ができていません…問合せの対応に300分かかっています。

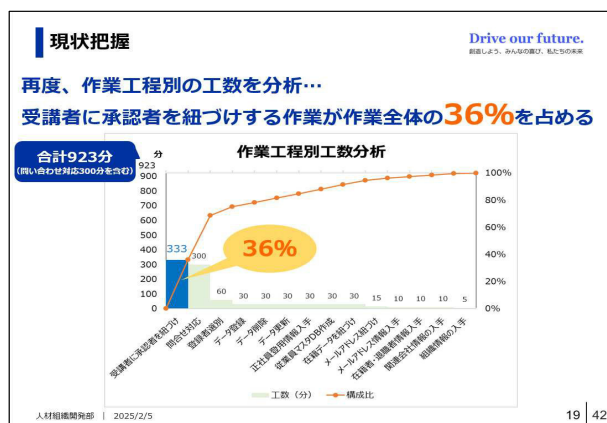
チームリーダー 温

それでは、作業工数の623分と問合せ対応の300分で合計923分もかかっているんですね…

メンバー 熊澤さん

人材組織開発部 | 2025/2/5 18 | 42

作業時間が多くかかる為、データの更新は大きな組織変更や異動が発生する4月と10月の年2回しか出来ていません。期中に異動した人は、更新までの間、古い所属名や承認者が出てくる状態となり、これが問合せの原因となり、問合せの対応に時間が取られる、という悪循環になっています。



問合せ工数を含め再度作業工程別の工数を分析した結果においても、受講者に承認者を紐づける作業が全体の36%と大きい割合を占めている事が分かりました。

目標設定 Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

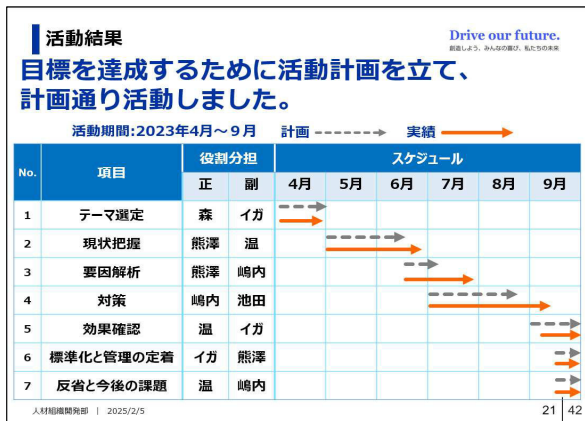
いつまでに 2023年9月末までに

何を 受講者に承認者を紐づける作業工数333分を

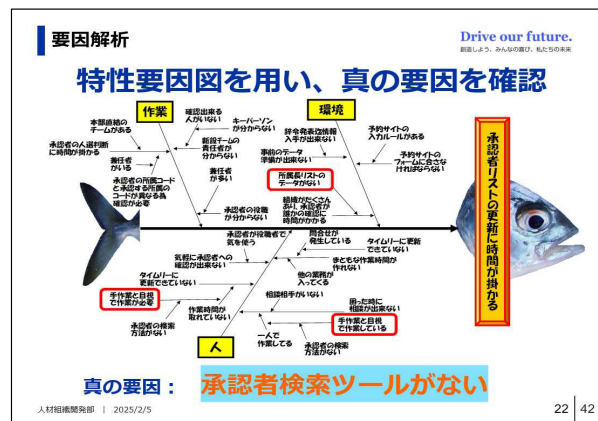
どれだけ 167分(50%削減)にする

人材組織開発部 | 2025/2/5 20 | 42

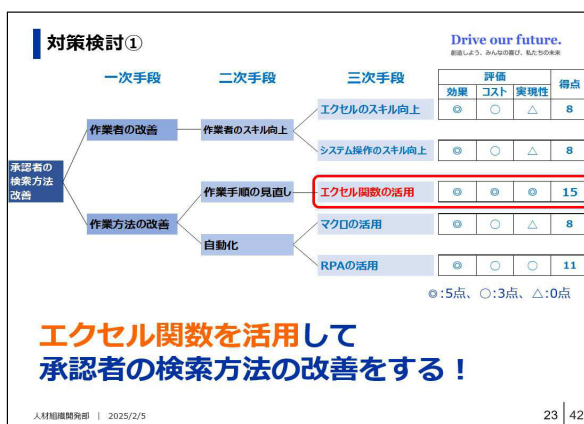
そこでメンバーで話し合い、2023年9月までに50%低減の167分を目指すと目標設定をし活動を進めていきました。



当初の想定よりも時間がかかった項目もありますが、最終的には目標の9月末までに活動を終わらせることが出来ました。



まずは特性要因図を用いて、問題点の「承認者リストの更新に時間がかかる」に対して分析を行った結果、「承認者検索ツールがない」という要因が挙がりました。



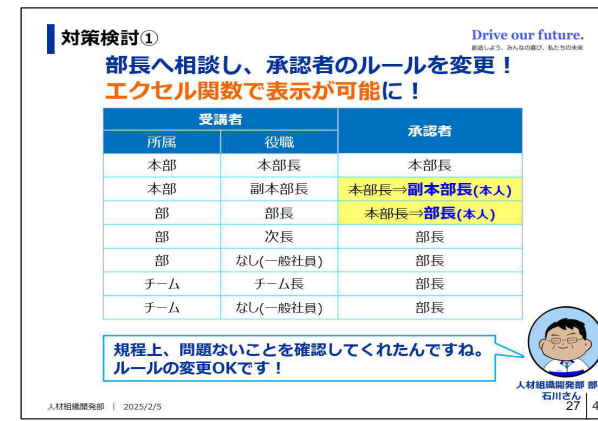
要因に対して系統図を用いて対策案を検討した結果、エクセル関数を活用し承認者の検索に掛かる工数の削減に向け、対策を行います。



しかし対策案検討中に、エクセル関数では一部の承認者を現行のルール通りに表示させることが難しいという問題が発生しました。本部長が承認者となっている一部に関して、Excel上で関数式を用いての表示が出来ないという問題です。



困ったメンバーの池田さんが世話人補佐の大地さんに相談した結果、ルールの変更も含めて、検討してはどうかというアドバイスを受け、再度検討を行う事になりました。



そして人材組織開発部長に相談し、関数式での表示が出来ない対象者に限っては、承認者を変更する事で承認を頂き、エクセル関数での表示が可能となりました。関数式での表示が出来ない受講者は部門長以上のため規程上本人の承認で問題がないことを確認し自身の承認で申込をいただくように変更しました。

対策実施① Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

実際の関数式

```

IFERROR(
  IFERROR(
    IF(
      IF(SUM((責任者検索!$I3=TRANSPOSE(役職リスト!$B$3:$B$7))*1)<>0,1,0)=0,
      IFNA(
        VLOOKUP($G3&1,部門長!$B$2:$D$4243,2,FALSE),
        VLOOKUP($G3&1,兼務部門長!$B$2:$D$4243,2,FALSE)
      ),
      責任者検索!$B3
    ),
    VLOOKUP(H3,イレギュラー!$E$4:$F$11,2,FALSE)
  ),
  責任者検索!$B3
)

```

【関数式の内容】

1. 受講者が部門長でなければ、所属部門長を参照する
2. 部門長であれば自身を返す
3. 該当者なしの場合イレギュラーリストを参照する
4. 該当者なしの場合自身を返す（本部長等）

人材組織開発部 | 2025/2/5 28 | 42

実際の関数式は上記の内容です。受講者がどのような役職か等を判別し、上司である承認者が出るように数式を組みました。

対策実施① Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

従業員の氏名を「従業員名簿」シートに貼り付けると

自動的に承認者が表示される！！

人材組織開発部 | 2025/2/5 29 | 42

この数式を用いる事で、エクセルシートの在籍者名簿というシートに従業員の氏名を貼り付けると自動的に承認者が表示されるようになりました。わざわざ、紙の社内組織表を見ながら、手作業で入力していく必要がなくなりました。

対策検討② Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

承認者の自動表示が可能になったが、ここで問題が・・・

所属部署の変更依頼

問合せ対応 (300分)

自動表示により作業ミスはなくなるが、更新頻度を増やさないと問合せはなくなる

自身のIDがない・・・

承認者の変更依頼

人材組織開発部 | 2025/2/5 30 | 42

エクセル関数により承認者の自動表示が可能となりましたが、それだけでは問合せ対応の工数が無くなりません。作業ミスなどのエラーは無くなりますが、古い情報が登録されている事による問合せを無くすためには更新の頻度を増やす必要があります。

対策検討② Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

中途入社や退職は毎月のように発生するので、本当はタイムリーに従業員情報を更新する必要がありますね

メンバー イカさん

それであれば、RPAを使って毎月決まった日に従業員情報の更新作業が出来れば解決しそうです。常に正しい情報が反映される事で問合せも無くなりますね

メンバー 嶋内

人材組織開発部 | 2025/2/5 31 | 42

そこでメンバーで話し合った結果、RPAを用いて決まった日にミスなく従業員情報の更新が出来れば、解決出来るのではないかという事でRPAによる自動化を進めます。更新頻度が増える事で問合せが発生していた悪循環の解消にもつながります。

対策検討② Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

大項目	作業詳細	手段	工数 (分)
異動・組織や手	メールアドレスの入手	情報システム部に依頼	10
	在籍者・退職者情報の入手	=従業員名簿の入手	10
	正社員登録情報の入手		30
	組織情報の入手	ポータルサイトよりダウンロード	5
データ更新作業	関連会社情報の入手	関連会社に依頼	5
	メールアドレス紐づけ	Excel関数	333
	受講者に承認者を紐づけ(承認者リストの更新)	組織情報を見ながら手作業	
	在籍データを紐づけ	Excel関数	
登録・予約サイト	従業員マスタDB作成	Excel関数	30
	登録者選別	Excel関数	60
	データ削除	予約サイト操作	30
	データ登録	予約サイト操作	30
	データ更新	予約サイト操作	30
合計 (分)			623

RPA化に挑戦

人材組織開発部 | 2025/2/5 32 | 42

そしてデータ入手の中で、在籍者名簿の入手という作業のRPA化に挑戦する事になりました。従業員情報の基礎となる重要な作業の為、ヒューマンエラーを無くす事で工数低減とともに、品質の向上を目指します。

対策実施② Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

- 1.RPA担当者の登録
- 2.シナリオ開発教育受講
- 3.ハンズオントレーニング
- 4.RPA用PC設置
- 5.RPA運用教育受講
- 6.シナリオ開発申請
- 7.シナリオ開発
- 8.テスト
- 9.リリース申請

RPAのシステム導入・研修受講・シナリオ開発を実施

ネットでやり方を調べたり、情報システム部に毎日のように聞いたりしながら進めました。

メンバー 嶋内

人材組織開発部 | 2025/2/5 34 | 42

RPAのシステム導入から教育そして、実際の自動化に向けたシナリオの開発をメンバーから人選し、実施しました。初めての実施で分からない部分に関しては、情報システム部へ確認をしながら進めていきました。

対策実施②

Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

RPA化完了！！

- 最新の従業員名簿の入手
- 従業員名簿の加工

人材組織開発部で初めてRPAを使用し

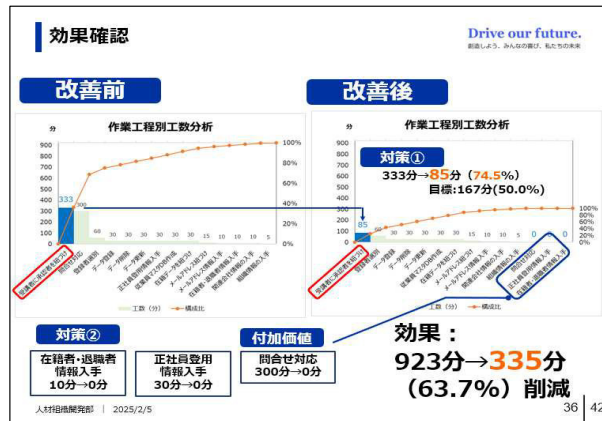
自動化に成功！！

データ更新作業の頻度が2回/年⇒12回/年

人材組織開発部 | 2025/2/5

35 | 42

そして、見事RPAのシナリオが出来上がり、人材組織開発部としては初めてRPAでの自動化に成功しました。



効果確認です。承認者リストの作成にかかる工数に加えて、問合せもなくなり、結果として、目標の167分を大きく上回り、85分まで削減出来ました。データの更新作業の頻度を上げることで問合せ対応もなくなり、全体の工数は923分から335分になりました。

標準化と管理の定着

Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

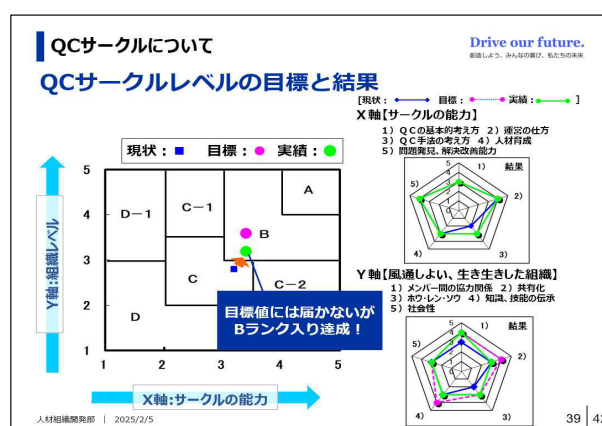
5W1H	エクセル関数	RPA
What (何を)	エクセル関数を	RPAのシナリオを
When (いつ)	不具合発生時	不具合発生時
Who (誰が)	池田が	嶋内が
Where (どこで)	エクセルのシートで	RPAで
Why (なぜ)	不具合を解消するため	作業内容の変更反映 もしくは 不具合を解消するため
How (どうする)	手順に従い修正する	修正する

責任者検索シート定期チェックリスト

人材組織開発部 | 2025/2/5

38 | 42

今回実施したエクセル関数とRPAに関して、メンバーで話し合い、上記の方法で維持管理を行っていきます。



今回の活動を通じて新しい事への挑戦や、活動後には今まで実施出来ていなかった、部内での成果報告会も実施し、サークルのスキルやメンバーのスキルが向上しました。目標値には届きませんでしたが、Bランク入りは達成しました。

活動の振り返りと今後の課題

Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

良かった点

- 一番効率的な対策案での改善により工数の低減を図れたと同時に作業頻度が上がる事で品質の向上が出来た
- QCC活動を通してサークルレベル、またメンバー自身の成長に繋がり、活動後も勉強会開催や改善活動、人材育成が継続して行われている
- PDCAをしっかりと回せたことでRPAありきの改善活動にはならなかった

今後の取り組み

残りの作業(講座予約システム上の従業員データベースの更新)の効率化を検討する

⇒2023年11月に自動化済◎

人材組織開発部 | 2025/2/5

40 | 42

活動の良かった点として、効率的な改善に加え、作業頻度の増加により品質の向上が実現出来た事。またQCC活動を通じてサークルやメンバー自身の成長に繋がり、部の中で良いサイクルが実現・継続されている事。そして、PDCAをしっかりと回す事ができ、改めてQCサークル活動を通じて活動出来た事の意義を感じる事が出来ました。また今後の取組で挙げた、残りの作業についても2023年11月にはRPA化第二弾として、自動化を実施しております。

活動の振り返りと今後の課題

Drive our future.
前進しよう、みんなの喜び、私たちの未来

この活動で作成したエクセル関数を活用し責任者検索シートを作成し部内に展開!

⇒研修展開時の責任者確認工数の低減および宛先ミスの低減にも貢献

責任者検索シート

「黄色セル部分に対象者の得意担当を入力下さい」

チーム長の表示を追加

人材組織開発部 | 2025/2/5

41 | 42

今回の活動で作成したエクセル関数を元に、部長だけでなくチーム長も表示できるようにした「責任者検索シート」を作成し部内に展開しました。これにより、研修やその他連絡事項を展開する際に責任者を確認する工数の低減及び、宛先ミスの低減に貢献しました。